

令和 8 年度山口大学入学者選抜学力検査 前期日程

理科（地学）解答例

令和 8 年 2 月 山口大学

掲載にあたって

- ※解答例（または出題の意図）についての質問・照会には一切回答いたしません。
- ※「正解・解答例」については、あくまで解答例を例示したものです。
- ※一義的な解答が示せない記述の問題については、出題意図のみを公表します。
- ※前期日程 理科（物理・化学・生物・地学）の問題冊子は実際には合冊となっています。

令和8年度 入学者選抜学力検査

地 学
(4枚のうち第1枚)

受験番号				学部	
●	●	●	●	氏名	

受験番号			
●	●	●	●

解 答 用 紙

I

問 1

ア	35	イ	27	ウ	22.6
エ	6.4	オ	5.4		

問 2

A	シアノバクテリア	B	ストロマトライト
C	真核	D	エディアカラ
E	カンブリア	F	澄江 (チェンジャン)
G	バージェス	H	カンブリア紀の生物大爆発 (カンブリア紀の爆発的進化、カンブリア紀の爆発、カンブリア爆発、またはカンブリア紀爆発でもよい)

問 3

a

問 4

現象名 全球凍結 (スノーボールアース)
記号c

採点欄
●

採点欄
●

令和8年度 入学者選抜学力検査

地 学

(4枚のうち第1枚)

受験番号					学部	
●	●	●	●	●	氏名	

受験番号				
●	●	●	●	●

解 答 用 紙

2

問 1

ホルンフェルス

問 2

同質異像	多形 も可。 他形 は不可。
------	-------------------

問 3

(c)

問 4

斑状組織

問 5
色指数

60	60% も可。
----	---------

理由

Dの岩石の有色鉱物は輝石・角閃石・かんらん石の3種類で、方眼の交点にこれらの鉱物があるのは15箇所。その割合は $15 \div 25 \times 100 = 60$ となるから。

問 6
岩石名

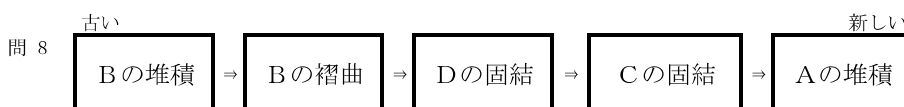
斑れい岩	はんれい岩、ハンレイ岩 も可
------	----------------

理由

等粒状組織なので深成岩であること、色指数が60なので苦鉄質岩であることから、斑れい岩であると判断した。

問 7

(c)



採点欄

採点欄

令和8年度 入学者選抜学力検査

地 学
(4枚のうち第3枚)

受験番号										学部	
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	氏名	

受験番号									
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

解 答 用 紙

3

問 1

ア	太陽定数	イ	$1.37\pi R^2$	ウ	0.34
エ	ハドレー	オ	北		

問 2

右図に示すように、春分の日、北緯60度での太陽高度は30度である。単位面積あたりに受け取る太陽放射量をEとすると、北緯60度の地点Xで受け取る太陽放射量は、 $E \times \sin 30^\circ = (1/2) E$ となるから、赤道の地点Yで受け取る太陽放射量の1/2となる。

問 3

(a)	地球放射の放出量	(b)	太陽放射の吸収量
-----	----------	-----	----------

問 4

(c)

問 5

潜熱

採点欄
●

採点欄
●

令和8年度 入学者選抜学力検査

地 学
(4枚のうち第4枚)

受験番号					学部	
●	●	●	●	●	氏名	

受験番号				
●	●	●	●	●

解 答 用 紙

4

問 1

b

問 2

玄武岩 (もしくは「かんらん岩」)

問 3

<p>計算過程</p> $(2000 \times 100,000) / (42,000,000 - 17,000,000) = 8.0$ <p style="text-align: right;">答え 8 センチメートル/年</p>
--

問 4

0	10	20
<p>地点AからDでは、プレート発散境界に近づくにつれて、火成岩の年代は若くなり、それを覆う石灰質堆積物も薄くなる傾向がある。そして発散境界に近い地点CとDでは表層の粘土もなくなっている。そのため発散境界に近い地点Xでは、若い年代の火成岩の上に薄く石灰質堆積物の地層が覆っていると予想される。(143文字)</p>		
150		

採 点 欄
●

採 点 欄
●